



このおたよりは、園長信行が気分によって発行させていただいています。したがって、発行日は決まっていますが、園からのお願いや「なぜ?」「なに?」のお答え等、タイムリーにお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。文責 信行甲子

平成29年12月14日(木) 第10号



子どもとメディアの関係、知りたくないですか？

今言葉の遅れた赤ちゃんが増えているそうです。1歳6か月検診の時、言葉の遅れをともなう「コミュニケーション不足」の要観察児は10人に1人みつかりと小児科医の片岡直樹先生は言われています。そんな偉い先生のお話でなくとも、当園でも年々「言葉が出ない」「コミュニケーションが苦手」のお子さんが増えてきているのは事実です。このお便りでも時々「絵本」や「言葉」の大切さに触れてきましたが、その前に向き合わなければならないのがこの「メディア」との関係の様です。別紙を見られて、「またか〜」「そんなことわかってるよ」と思われるかもしれませんが、事態は思った以上に深刻ですよ。

幼児期は「五感を通して世界をつかまえていく時期」と言われています。五感とは「視覚・みる」「聴覚・きく」「嗅覚・かぐ」「触覚・さわる」「味覚・あじわう」のこと。これらを全く体験しない生活はあり得ませんが、メディアを過剰に取り入れることによって、五感を感じる機会が奪われていき、つかまえる世界が変わっていくのは確かな様です。

最近、幼稚園でも、親御さんと一緒にの時に、ささっとスマホやタブレットでYouTubeを見たり、ゲームをしたりするお子さんが増えてきました。いつも見ているのか、たまになのか、私達には判りませんが、その行動を「賢い」「将来何でも使いこなせるようになるから安心」ととらえないでいただきたいと思います。メディアを与えすぎたことで、言葉が少ない、コミュニケーションが苦手、落ち着きがない、人をたたく、蹴るなどの困った行動が出る場合があります。これは親も困りますが、最終的には本人が一番困ることですよ、

基本的には幼児期にはメディアは必要ないといわれています。でも完全にシャットアウトできないのが現代の生活。冬休みを前に、ご家族でメディアの使い方を検討されてはいかがでしょう？大きいお兄ちゃんお姉ちゃんを巻き込んで、ぜひ約束事の見直しと強化をお願いしたいと思います。

片岡直樹さん、何人かおられるようですが小児科医の方ですよ
逮捕されてる方もおられますが、違います(笑)

参考までに・・・

「YouTube 片岡直樹」で検索して、3児の動画を観てみて下さい。